

# カブ隊の一日

(小学2年生10月～小学5年生9月まで)

9:15

## 朝のセレモニー（学校で例えると「朝の会」）

組長が自分の組をまとめて正しい服装でセレモニーに臨みます  
「カブコール」という歌を歌って始めます  
メインプログラムに集中できるよう簡単なゲームで体を動かします

9:45

## メインプログラム

手旗や地図記号、ロープワークや野外調理と、少しずつボーイスカウトの技能を学んでいきます  
時にはボーイ隊の先輩がコーチとして参加してくれるので、先輩の背中を見て憧れを抱くようにもなります

11:15

## 活動のまとめと次回準備

話し合ったことの発表や身に付けた技能を披露します  
次回の活動の持ち物などを自分のノートに書き写します  
ボーイスカウトにとって「準備」はとても大切な事です  
そして自分の事は自分でするのも大切な事  
最初は難しかったスカウトも回を重ねるうちにだんだん出来るようになります  
コツは「親は手を出さずに見守る事」

11:30

## 帰りのセレモニー（学校で例えると「帰りの会」）

改めて服装を整え心を整え、セレモニーに臨みます  
隊長の話を聞いて今日の振り返りをします  
最後は組で集まり、次も元気に会えるよう組で挨拶をして終わります

11:45

## 解散

保護者のお迎えが来るまで公園で元気に遊んで待ちます  
リーダーはスカウトを保護者に無事引き渡すまで残って見守ります

### 《カブ隊の特別な活動》

ハイキング：距離も10～20kmとビーバー隊の時より長くなり、完歩するためには仲間の力が必要です

宿泊体験：夏にはそれぞれの役割を持って県内の自然の家で保護者付添無しで宿泊体験を行います。自分の事を自分でしっかりと行えるようになります

スキー舎営：ボーイ隊と一緒にスキー舎営に行き、技術だけではなく内面も成長します

県集会：3年に1度、県のカブ隊が集結して活動を行います